

第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和4年度実績)

■令和4年度 教育・保育の需要量の見込みと確保方策(提供体制)〔※事業計画中間見直し書4ページ一部抜粋〕

		計画策定時 (A)					
		2号					1・2歳
		1号	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	3号	0歳	
①需要量の見込み 【利用希望児童数】		812	929	1,283			
		535	277	652	631	185	446
②確保方策 児童定員合計	特定教育・保育施設	★を除く 1,029	－	802	704	190	514
	上記以外の幼稚園※1	－	－	－	－	－	－
	幼稚園及び預かり保育	★ 277	－	－	－	－	－
	特定地域型保育事業	－	－	－	－	－	－
	認可外保育施設	－	－	0	68	39	29
	合計	1,306		1,574	772	229	543
	過不足 (②-①)	494		150	141	44	97
		幼稚園 ← → 保育所					
		実績(R5.3現在) (B)					
		2号					1・2歳
		1号	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	3号	0歳	
		1,104	1,054	1,388			
		801	303	751	637	181	456
	★を除く 1,016	－	834	635	160	475	
	－	－	－	－	－	－	－
	★ 314	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	12	102	35	67	
	合計	1,330		1,583	737	195	542
	過不足 (②-①)	226		95	100	14	86
		幼稚園 ← → 保育所					
		実績(B)-計画(A)					
		2号					1・2歳
		1号	幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外	3号	0歳	
		125					
		266	26	99	6	▲ 4	10
	▲ 13	－	32	▲ 69	▲ 30	▲ 39	
	－	－	－	－	－	－	－
	37	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	▲ 4	38	
	合計	24	44	▲ 35	▲ 34	▲ 1	
	▲ 268	0	▲ 41	▲ 30	▲ 11		
		幼稚園 ← → 保育所					

※1 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度における施設型給付費を受ける保育所・幼稚園・認定こども園は、「特定教育・保育施設」に含み、私学助成を受ける従来型の幼稚園は「上記以外の幼稚園」に含みます。

令和4年度の取組と今後の事業計画、課題等
令和5年3月現在では、幼稚園部分の利用定員1,330名に対し1,104名の利用実績があり、保育所部分では1,583名の利用定員に対し1,388名の利用実績であった。 この結果から、保育所部分において、195名分保育需要を上回る利用定員を確保しているように見受けられるが、保育士不足の影響で各保育施設において十分な保育士数を確保できていない状況があり、希望する保育所等に入所することができない入所待ち児童が依然として生じている。そのため、保育所部分の定員を確保しながら、新たに市内の保育施設等における人材確保を支援するため、令和5年度より「保育士等就労定着支援事業」を実施し、保育士等の確保に努めていく。 なお、令和4年4月に子ども・子育て支援新制度幼稚園へ市内4園が移行したことにより、小樽市内の幼稚園は全て新制度となった。 利用定員については今後も、事業者の意向を確認しながら需要量を満たすよう設定していく必要があり、事業者と協議をしていく。